

CALS-Support 2019 拡張機能

本資料では CALS-Support 旧バージョンをお使いのユーザー様へ、新バージョン「2019」にて改良された部分を説明します。

1. 国土交通省 電子納品要領 平成 30 年 3 月対応：土木，電気設備，機械設備（設計のみ）

平成 30 年 3 月に国土交通省より発表された以下の要領に対応しました。

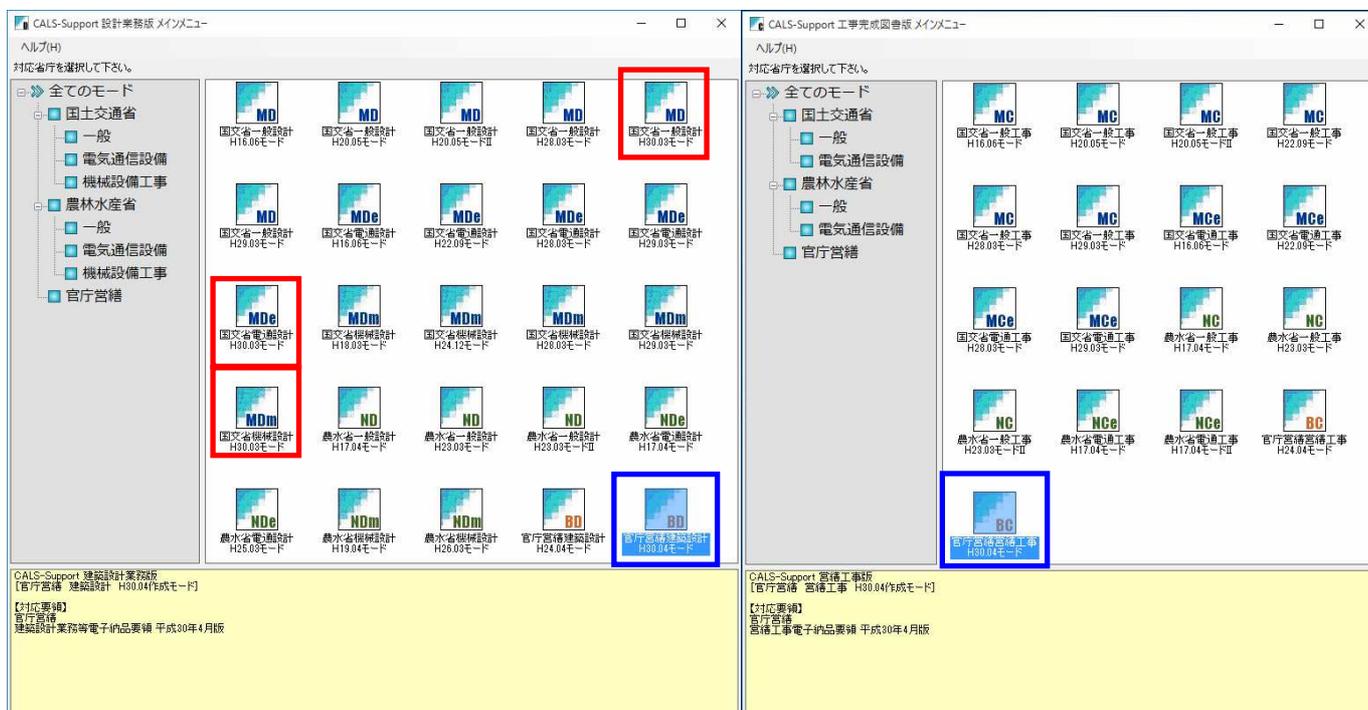
- ・測量成果電子納品要領 平成 30 年 3 月版

これにより設計業務版では、「国交省 一般設計 H30.03 作成モード」「国交省 電通設計 H30.03 作成モード」、「国交省 機械設計 H30.03 作成モード」を（下図、赤囲みの箇所）追加しました。

2. 国土交通省 官庁営繕電子納品要領 平成 30 年度版対応：平成 30 年 3 月に国土交通省 官庁営繕部より発表された以下の要領に対応しました。（設計・工事）

- ・営繕工事電子納品要領 平成 30 年度版
- ・建築設計業務等電子納品要領 平成 30 年度版

これにより設計業務版では、「官庁営繕建築設計 H30.04 作成モード」、工事版では、「官庁営繕営繕工事 H30.04 作成モード」を（下図、青囲みの箇所）追加しました。



【設計版：赤囲み箇所 3 モード・青囲み 1 モード追加】

【工事版：青囲み 1 モード追加】

CALS-Support 2019 拡張機能

3. 国土交通省 電子納品運用等ガイドライン 平成 30 年 3 月対応：国交省一般工事・電通工事 H29.03 モードにて電子成果品と工事帳票をまとめて出力できるようにしました。 (工事のみ)

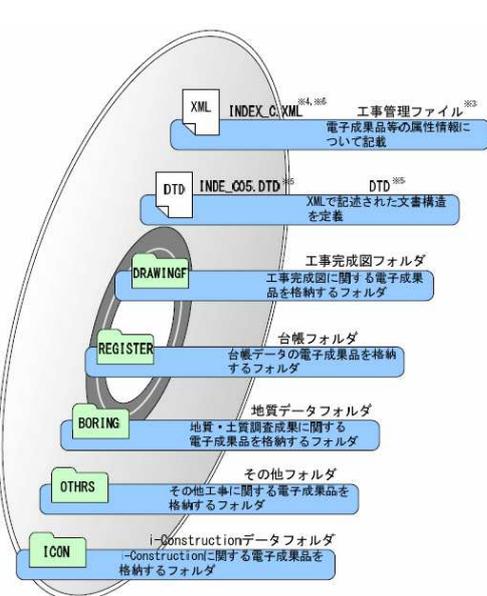


図 1-5 電子媒体に格納される電子成果品のイメージ

出典：電子納品等運用ガイドライン【土木工事編】
平成 28 年 3 月

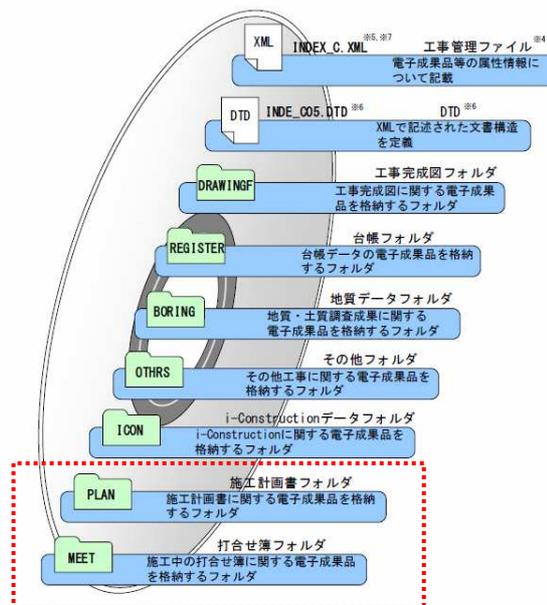
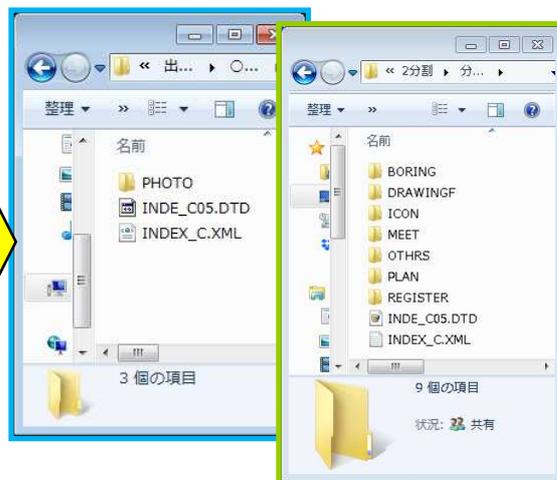
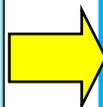
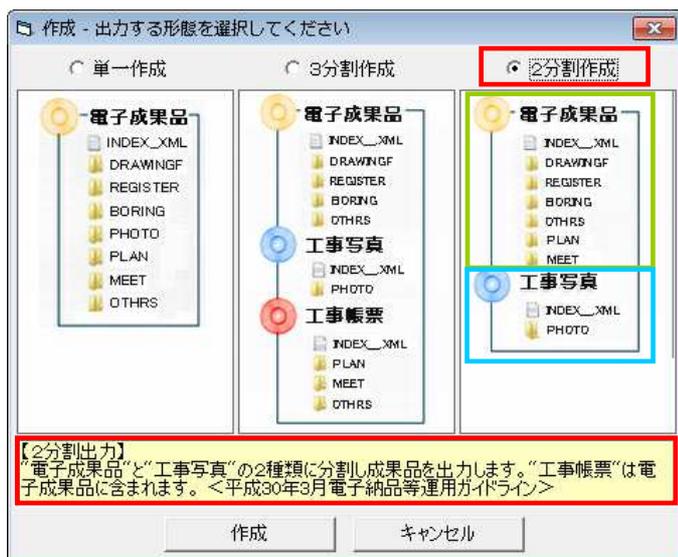


図 1-3 電子媒体に格納される電子成果品及び工事帳票のイメージ

出典：電子納品等運用ガイドライン【土木工事編】
平成 30 年 3 月

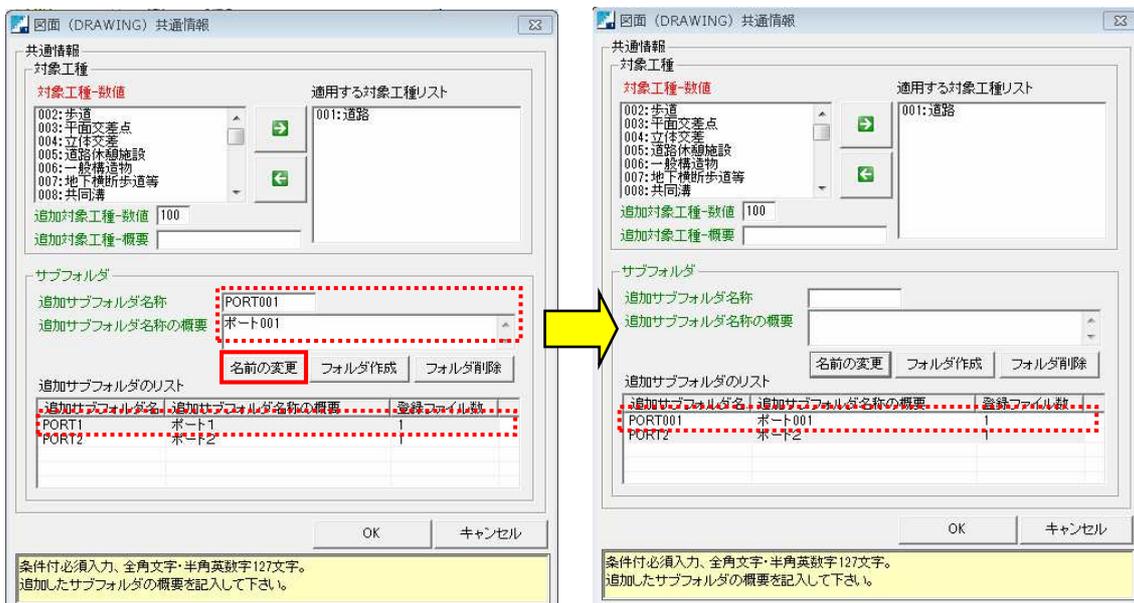


国土交通省一般工事・電通工事 H29.03 モードの「成果品の作成」時、出力する形態の選択で平成 30 年度運用ガイドラインに明記されています 2 分割作成「電子成果品（電子成果品＋工事帳票）・工事写真」の出力ができるようになりました。

CALS-Support 2019 拡張機能

4. 図面フォルダにおいて、サブフォルダの名称変更に対応しました。(国交省モード)

一度作成したサブフォルダの名称を変更するとき、サブフォルダを削除して再度作成が必要でした。サブフォルダ作成画面に [名前変更] を追加し、既存のサブフォルダ名を変更できるようにしました。



5. 報告書フォルダのオリジナルファイル登録中の削除に対応しました。(設計・国交省モード)

REPORT のオリジナルファイルを登録中、一度ドラッグ&ドロップしたデータを削除する場合、登録画面を確定させ、納品ツリーより登録したデータを削除しないといけませんでした。登録画面上で削除できるように改修しました。

但し、一度登録確定 ([OK] をクリックしツリー画面に遷移) させたものはツリーからしか削除できません。

